

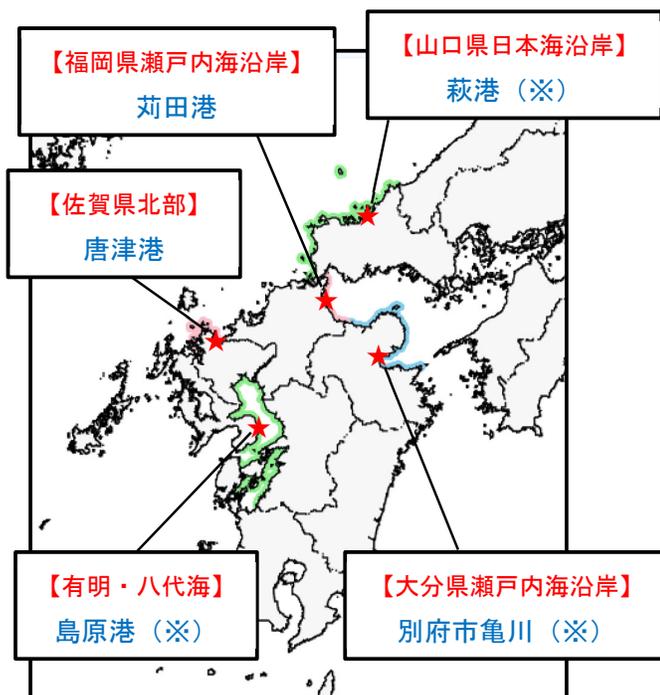
## 巨大津波観測計「別府市亀川」の運用を開始しました

気象庁は、全国で「巨大津波観測計（※）」を新たに9地点に整備し、津波の観測体制を強化します。これにより、全ての津波予報区で、検潮所等による観測に加えて巨大な津波も観測できる体制が整います。

大分県では、別府市の亀川漁港に巨大津波観測計（観測点名：別府市亀川）を新規に設置し、3月12日12時から運用を開始しました。これにより、津波予報区「大分県瀬戸内海沿岸」において、検潮所による観測に加えて巨大な津波の観測情報の発表が可能となります。

なお、「別府市亀川」について、3月12日12時から『満潮時刻及び津波の到達予想時刻に関する情報』の発表を開始しました。

（※）水圧センサーを海中に設置し、水圧の変化を観測することにより数mを超える津波を観測できる機器



巨大津波観測計を新たに設置した津波観測点の分布図  
(九州及び山口県に限る)

赤字は、津波観測点が属する津波予報区の名称、青字は、津波観測に関する情報を発表する際に使用する津波観測点名称をそれぞれ示す。また、（※）は、新規の津波観測点名称であることを示す。